

看護部通信

#IOSPY

2016.4.1発行 第46号
ホスピグループ腎透析事業部看護部

ごあいさつ

ホスピグループ腎透析事業部
統括看護部長 岡山 ミサ子

新年度を迎え、新しく入職された方々、おめでとうございます。看護をめざす仲間としてよろしくお願ひ致します。現場で、患者・家族のケアをしながら、新人看護師を迎える先輩看護師の方はご支援よろしくお願ひ致します。共に育ちあえる職場にしたいものです。

新生会第一病院
看護部長 宮下 美子

新年度は診療報酬改定があり様々な工夫、改善が必要になります。また、新生会は新築移転が決定し、プロジェクトがスタートします。新入職したたくさんの仲間と共に、新しい風を取り入れながら私たちの看護実践をしていきましょう。

<2016年度のキーワード>

・いのちのケアの実践

患者・家族の根底にあるニーズの把握、意思決定の支援、治療的コミュニケーション、ガイドラインに沿った医療安全、看護師の働きやすさ(メンタルケア)

・対話と協働

看護師間の対話で共に考え、つなぎ、広げる。多職種・他部署・外部の介護系など異文化・異分野の対話・協働の場づくり

・連携構築

グループ内・外のさらなる連携構築、地域包括ケアシステムの構築にむけての取り組み

2015年度 新人育成のためのスタッフ学習会

“新人と先輩のコミュニケーション”

外来・在宅透析教育センター:三輪八千代

新生会看護部では、毎年この季節(新人看護師を迎える前)にスタッフひとりひとりが新人育成について学んでいます。今年のテーマは“新人と先輩のコミュニケーション”とし、2月29日、3月11日、3月17日の3日間に分けて学習会を行いました。

【目的】

自分と新人の思いや気持ちに気づき、伝えることで、コミュニケーションを円滑にする。

【目標】

- ①課題の分離について学び、自分の感情に気付く。
- ②演習を通して自分の感情を表現することを体験する。
- ③自分の思いを伝える方法を学ぶことで、新人の思いにも関心をもつ。

【内容】

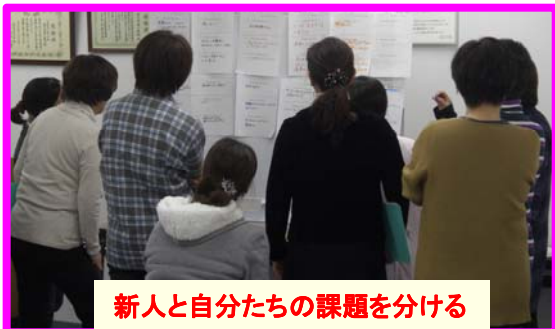
・新人について考えてみよう！新人と先輩(私たち)の課題を分ける。
・自分の感情、思いに気づき、相手に言葉にして伝えてみる。
ペアでロールプレイを行いました。ロールプレイでは日ごろ遭遇しそうな指導の場面を設定し、新人と先輩を真剣に演じることでお互いの思いに気付くことができました。



課題の分離について学びたい方へおすすめの本です。

嫌われる
勇氣

嫌われる勇氣
自己啓発の源流
「アドラー」の教え
岸見 一郎 / 著
古賀 史健: 著



新人と自分たちの課題を分ける



ロールプレイ

<<感想>>

・「自分の感情に気付く」ことは難しい。どう思って話したのか、行動したか、あらためて考えた。新人を演じてみて、先輩の優しい声掛け、態度で話しやすかったことがわかったなど

新人と先輩のコミュニケーションで、多くの気づきが生まれ、新人を迎える準備ができました。

十全クリニック

こんな職場だといいね！ 看護師長 片村幸代

十全クリニックでは、スタッフ一人一人が日ごろ思っていることをフラットに話す場を設けて「こんな職場だといいね！」とみんなが思える職場作りのために取り組みを企画・実施しました。

チーム力がアップして、心地よい職場であることが、患者さんのため、私たちのために繋がっていくことだと信じています。

「働きやすい職場の6ヶ条」つくりました 主任 平良梓

今回、職場環境を振り返ることでストレスとなる原因に関心を持ち、快適で働きやすい職場つくりのために必要な改善点に気づき、対策を話し合うという目的を持って、グループワークを行いました。対象は当日勤務した看護師9名です。

2グループに分かれ、職場環境の改善のポイントを明確化した上で具体的な対策案を話し合い、発表し、その内容を参加者全員で標語としてまとめて「働きやすい職場の6ヶ条」を作りました。

楽しい雰囲気の中、一人ひとりが真剣に考え、主体的に作ることができたと思います。今回、みんなで作り上げたこの標語を心に留め、お互いに支え合い、認め合い、育ちあえる職場に近づくことができたらいいなと思います。

働きやすい職場の6ヶ条



- ①十分な休暇でリフレッシュ
- ②笑顔で元気に挨拶
- ③思いを伝えるI(アイ)メッセージ
- ④思いやり、みんなで作るチーム医療
- ⑤報・連・相でつながる安心
- ⑥一人ひとりがプロフェッショナル

働きやすい職場作りへの取り組み！（パート1）

新生楽舎3事業所

新生楽舎3事業所では、2016年1月21日に合同学習会を実施しました。新生楽舎デイサービスセンター、訪問看護ステーションサルビア、ホスピエ居宅介護支援事業所の3事業所から12名が参加し交流会をしました。事業所の違うメンバーとグループで話し合い、それぞれの事業所がめざす方向性がわかり、交流が深まりました。（訪問看護ステーションサルビア 村瀬敦子）

** 3事業所合同学習会 **

新生楽舎デイサービスセンター
訪問看護ステーションサルビア
ホスピエ居宅介護支援事業所



事業所自体が元気になれば、利用者数が増えて経営が安定する。そして職員を増員することができる。

私たちは、
こんな職場に
したい！

事業所間の交流が持てる
職場にしたい

お互いに信頼しあって、コミュニケーションが
とれていて、助け合える人間関係の良い職場

自己紹介

こんな職場にしたい

こんな事業所にしたい

振り返り

